

REAR CAMERA INPUT-HARNESS

リアカメラ入力ハーネス

RCH073P

取付/取扱説明書



注意事項

本書には取り付け/取り外し作業中の事故、または不適切な作業による車両損傷などにより、安全と信頼性が損なわれないよう守るべき項目を記載しています。ただし、これらの表記は起こり得るあらゆる現象に関して、すべて記載することはできないため、これらの記載事項さえ守れば良いという絶対的なものではないことを、あらかじめご承知おきください。



重要・・・本製品を取り付ける前に知っておいていただきたいこと

- リアカメラ(バックカメラ)は鏡像タイプを使用してください。
- リアカメラの映像はシフトレバーを「R(リバース)」にしたときだけ画面に映ります。
- 本製品はNTSC(525i)のビデオ信号(RCAピン端子)に対応しています。
- 延長ケーブルを別途ご購入ください。

内容物一覧(取付前に必ずご確認ください)

- リアカメラ入力ハーネス ×1
- 結束バンド ×2
- 取付/取扱説明書(本書) ×1

ご相談窓口



サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442

【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:30(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)



メールでのお問い合わせ(PC)

<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>



メールでのお問い合わせ(スマートフォン)

<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



注意・・・守らないと車および製品を破損、または故障させるおそれがあるもの

- 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。
- バッテリーのマイナス端子を外す前に、オーディオ機器などの設定内容をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法は機器の取扱説明書をご参照ください。
- ナビを点検・修理に出す際は、必ず本製品を取り外してください。アフターパーツ類(本製品を含む)を取り付けている場合、メーカー保証の対象外となることがあります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- 取り付けをはじめる前に、ユニット内の音楽ディスクやメディアなどをすべて取り出してください。
- コネクタを外す際は、コネクタの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクタを無理に引っ張ると、コネクタやユニットが破損するおそれがあります。
- 配線部分は絶対に引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こすおそれがあります。
- コネクタを接続するときは、奥まで(カチッと音がするまで)確実に差し込んでください。
- 必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないと接触不良の原因となったり、配線が断線したりするおそれがあります。
- シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所など、運転に支障をきたす場所には本製品を絶対に設置しないでください。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要です。販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両には取り付けできません。適合外の車両に取り付けて発生したクレーム、事故、故障などに関して、弊社では一切責任を負いません。



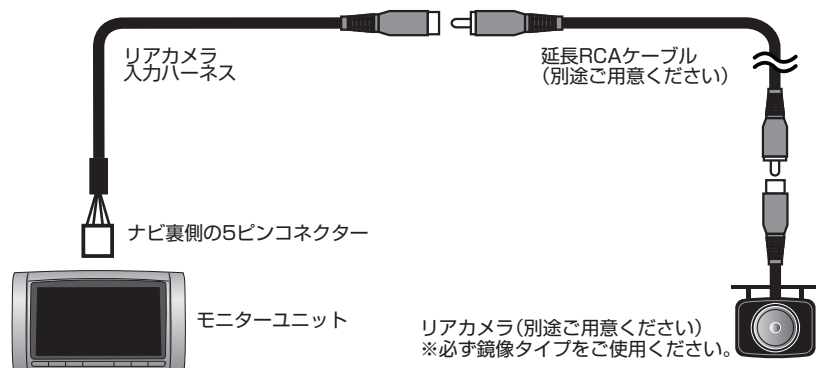
Data System 株式会社 データシステム

<http://www.datasystem.co.jp/>

■ [本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

本書は著作権法で保護されています。本書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

接続概要図



取付方法

取付位置について

本製品はナビのカメラ入力端子に取り付けます。機種によって取り付け位置が異なりますので、ナビの取付説明書をご参照のうえ、お取り付けください。

取付作業前の確認

- リアカメラの設置、動作確認は先におこなってください。
- ナビにバック信号(バックランプ電源)が接続していることを確認してください。バック信号が接続されていないとリアカメラハーネスは動作しません。

▼確認方法

ナビの画面にして車を後退(バック)させます。このときにナビの地図上で車を示すマークが同じように後退すればバック信号は接続されています。地図上で後退しない場合はバック信号の接続を確認してください。

1. バッテリーのマイナス端子を外します。

2. 図1を参照して、パネル類とモニター本体を外します。

3. ナビのカメラ入力端子(5ピンコネクタ)に本製品を接続します。

4. リアカメラハーネスのRCAコード(黄色ピンプラグ)をリアカメラと接続します。モニターが動作する状態にしてバッテリーマイナス端子を接続します。

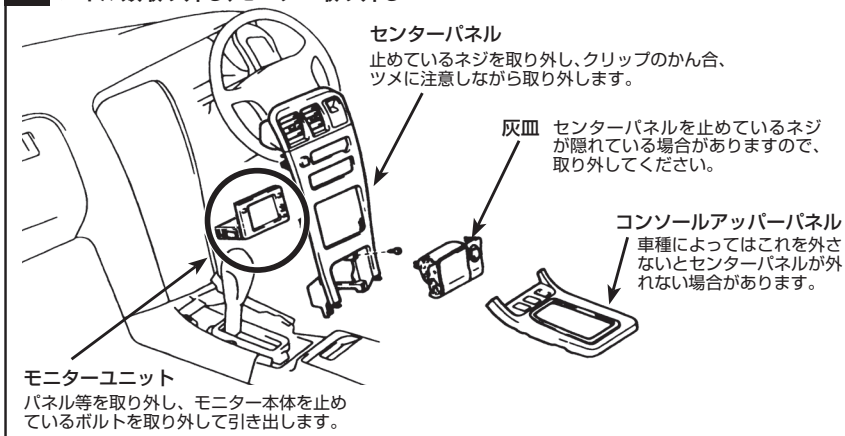
5. シフトレバーを「R(リバース)」にしてモニターの画面がリアカメラに切り替わることを確認してください。また、「R」以外にシフトを動かしたとき、モニター画面がリアカメラから他の画面に切り替わることを確認してください。

⚠ 映らない場合はナビ裏の接続、カメラの取り付け、ナビの「バックカメラ」の設定、ナビにバック信号(バックランプ電源)が接続されているかなどを確認します。

6. コード類を取り回し、取り外したパネル類を元に戻し取付作業は終了です。

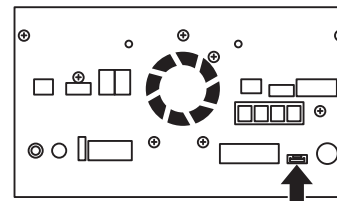
⚠ 「ナビの取扱説明書がない」「取扱説明書にカメラ設定方法の記載がない場合は、ナビメーカーにおたずねください。

図1 パネル類取り外し、モニター取り外し



RCH073P接続位置

下図を参照して、モニターユニット裏の5ピンコネクタに接続します。(通常空きコネクタになっています)



モニター裏の形状は図と異なる場合があります。



本製品を使用してナビにバックカメラを接続した場合、バックカメラ信号入力線の接続や、ナビ側で「バックカメラ」の設定が必要になることがあります。詳細はナビの説明書をご覧ください。